

品質を向上させるための取り組み

「おいしさ・健康・美」を追求した、安全・安心でお客様にとって価値ある商品・サービスを安定的にご提供し続けます。お客様の声を絶えずお聞きして、「植物のチカラ」を独創的な技術で商品・サービスに活かしていくとともに、お役に立つさまざまな関連情報を常に発信していきます。

「日清オイリオグループ行動規範」における — 顧客価値の追求 —

- 最良の質をもって提供するよう、常に商品・サービスの質の維持・向上に努めます。
- 商品・サービスの安全性を最優先とし、そのための供給・管理体制の徹底と更なる改善に努めます。
- 商品・サービスおよびその供給・管理体制について正確で分かりやすい情報を可能な限り公開し、商品情報や活動状況の透明性の維持・向上に努めます。
- 不測の事態が生じた場合は、速やかに人身・設備・環境その他への影響の可能性を整理し、その影響を最小限とするための対策を講じます。同時に、その原因究明と根本的な再発防止対策を行い、これらに関する情報を可能な限り公開するよう努めます。
- 常にコストダウンのためのあらゆる施策を講じ、お客様に満足頂ける価格での商品・サービスの提供ができるように努めます。
- お客様の満足度を基点として、その声に、迅速かつ誠実に対応するとともに、他社に先駆けて、お客様の生活を豊かにする新たな価値を創造・提案し続けることに努めます。

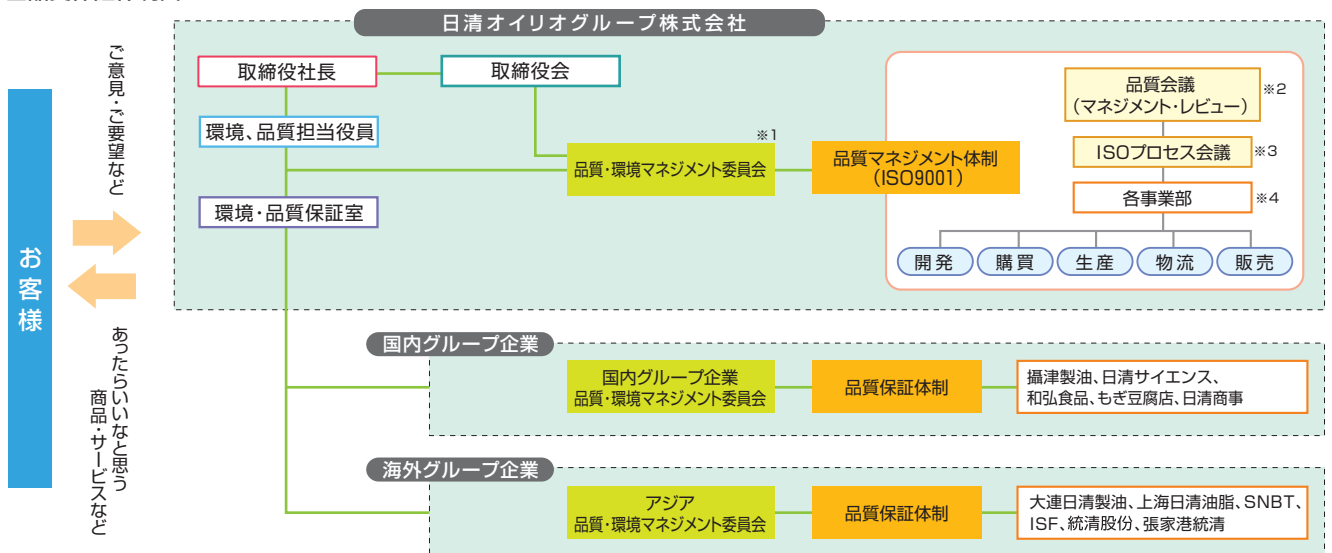
品質保証活動

品質保証は事業がグローバル化するにつれ、年々要求度・専門性が高度化しています。日清オイリオグループは、原材料の購入から商品の販売に至るまで、すべての段階で安全性確保、環境配慮を目指した仕組みを継続的に運用・改善していくとともに、問題対応型の品質保証から、予防的な品質保証への転換を進めています。ブランド憲章でもある「コアプロミス」(P18参照)を品質方針として定め、全社員がお客様にご満足いただける商品を提供し続けるために取り組んでいます。

品質保証体制

取締役会の諮問機関である「品質・環境マネジメント委員会」が、全社の品質保証にかかわる経営課題の抽出を行うとともに、ISO9001に基づいた品質マネジメントシステムを統括しています。サブシステムとして、各事業部門が品質マネジメントを担っており、「ISOプロセス会議」が部門横断的な課題解決を図る体制となっています。また、日清オイリオグループ社内だけではなく、国内外のグループ企業を含めた全事業活動としての品質保証体制を取っています。こうした品質保証体制の維持と確実な運用を支援しているのが「環境・品質保証室」です。

■ 品質保証体制図



※1: 品質および環境マネジメントに関する統括 ※2: 品質マネジメントシステムの運用全般に関する情報共有、経営者からの指示事項の徹底
 ※3: 品質マネジメントシステムの運用全般の把握、および部門横断的課題解決
 ※4: 事業部ごとに実行経営者、実行品質管理責任者を置くサブシステムで、きめ細やかな運用をはかっている

お客様とともに

取引先様とともに

株主・投資家の皆様とともに

従業員とともに

社会のために

環境のために

品質への取り組み

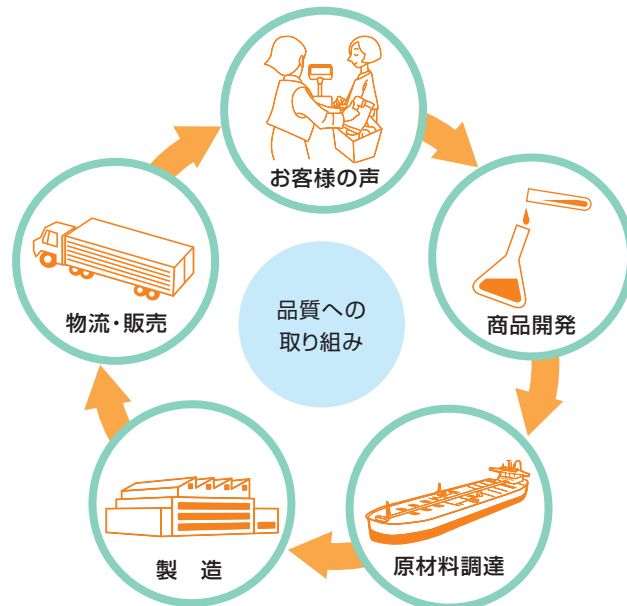
品質方針のもとISO9001で定めたルールに則り、商品開発から原材料調達、製造、物流・販売に至るまで、すべての段階で品質管理を徹底、食品の安全、安心を確保しています。

物流・販売

お客様への安全・確実な納品の実現および保管、出荷、輸配送、納品までのすべての物流現場での安全を目指し、物流品質管理基準を定めています。物流トラブルの発生を想定して、迅速な連絡、事後対応、対策を早急に講じる体制を構築しています。また、各地で料理教室を開催しており、お客様へ食用油のおいしさや料理の楽しさを提案しています。

製造

当社は、国内全ての工場でISO9001の認証を取得しています。異物混入防止のための製造ライン設計や、工場内で働く人に対する食品衛生マナーの教育など、食品の安全、安心を確保するための活動を地道に続けています。また、原料受入れから包装までの各工程で作業内容を記録・管理しています。各工程で品質検査を行ない、定められた規格・基準を満たしていることをチェックしています。



商品開発

開発設計管理規定に則り、商品企画、研究開発、資材調達の各部門が連携して、お客様の声を反映した商品開発を行っています。この段階で、適用される法規制を明らかにするとともに、各種調査結果や試験・検査データをもとに、製品の「法規適合性」「安全性」「品質」の評価、確認を行ないます。

原材料調達

油糧種子や原料油脂を調達する際は、原料購買管理基準に則り購買先の評価・選定を行ないます。また、分析試験項目や基準値を定めて品質を確認、合格したもののみ受入れます。新たな原材料は、サンプルの品質評価を行なうとともに、原材料メーカーから原材料規格書を受取り、使用にあたっての安全性を確認しています。

ISO9001 認証等取得状況と品質監査

日清オイリオグループは、早くから品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証を取得しています。国内外グループ企業は、順次「ISO9001」や「ISO22000（食品安全マネジメントシステム）」など各組織に見合った国際規格、基準類の導入を進めています。ISO9001品質監査は、内部監査と外部審査で実施しています。また、外部講師による監査員養成セミナーの修了者を内部監査員有資格者とし、約250名が任命されています。（2008年4月現在）

■認証等取得状況

認証等	取得状況
ISO9001	日清オイリオグループ(株)、攝津製油(株)、攝津製油(株)堺事業所油脂工場※1、和弘食品(株)、大連日清製油有限公司、張家港統清食品有限公司、上海日清油脂有限公司、SNBT
ISO17025※2	大連日清製油有限公司
HACCP※3	大連日清製油有限公司、上海日清油脂有限公司、ISF
AIB※4	日清オイリオグループ(株)横浜磯子工場加工油脂工場
ISO22000	日清サイエンス(株)

※1 ISO9001とISO14001の統合認証

※2 国際的な試験所認定規格(範囲:品質管理室における油脂・油粕の一般分析)

※3 食品の衛生管理システムの国際標準

※4 AIB(米国製パン研究所)の確立したAIBフードセーフティ(GMP)指導・監査システム

■品質監査状況

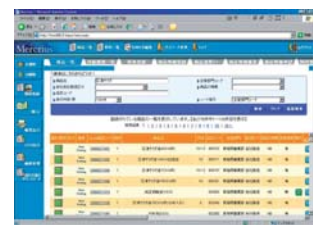
(件)

	2005年度		2006年度		2007年度	
	改善指摘	改善提案	改善指摘	改善提案	改善指摘	改善提案
内部品質監査	18	146	12	106	8	113
定期審査(外部)	2	17	0	27	0	14

トレーサビリティとデータベースシステムの活用

当社では、お客様に安全で安心できる商品をお届けするため、原材料取引先から原材料規格書を受取り、使用にあたっての安全性を確認しています。また、原材料から生産、販売までの情報を確認できるISO9001の仕組みにより、商品名および賞味期限などの情報から、原材料のロットや製造時の履歴を確認することが可能となっています。

当社は、原材料、商品に関する膨大な情報を一元管理するデータベースシステム「I-base」を構築しています。「I-base」を活用することにより部門間の情報共有が進むとともに、情報検索が容易になります。原材料取引先様のご協力のもと順次情報の拡充・更新を進めており、お客様へご提供する商品情報のさらなる精度の向上とスピードアップを図っています。



2008年度の課題

- 現場点検重視の品質管理強化
- 中国での保健食品製造に向けた品質保証体制の構築